

初発低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫患者の 治療法および予後に関する調査研究

低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫は幾つかの組織分類と病期に分類されており、各疾患に対して推奨される治療法があります。今回の研究では、各疾患に対して行われた治療法および予後を調査することを目的としています。この調査研究によって、最適な治療法の確立につながり、あなたと同じ病期の次世代の患者さんの治療に大きく役立つことが期待されます。

この研究は、低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫と診断された患者さんを対象とする通常診療下での調査研究です。調査期間中、患者さんの病気に関するデータ（病気の予後因子と考えられるリンパ腫の型、リンパ腫の広がり、年齢、全身状態、LDH などの血液データ、リンパ腫に対する治療法、治療効果、追加治療の有無）を収集します。この研究に参加したからといって、通常診療と異なる治療や検査をすることはありません。この研究は、福岡地区の約 150 名の患者さんにご参加頂く予定です。調査期間は最長で 5 年です。